

ガバナー公式訪問



河北ロータリークラブ

会長 村岡 功

平成25年7月29日の公式訪問例会に第2800地区・新関彌一郎ガバナー、第4ブロック早坂源重ガバナー補佐、志田泰久地区幹事にお越し頂き、1：例会の充実 2：各委員会の活性化 3：会員の増強 についていろいろアドバイスを頂きました。河北RCでは、月初めの例会では開会点鐘後に、全員が握手で始まる習わしになっておりますが、この日の新関ガバナーの握手し

た時の手が、熱かったような気がします。長い1年間です。体には十分気を付けてよろしくお願い致します。ご指導、誠にありがとうございました。



尾花沢ロータリークラブ

会長 笹原正一郎

8月1日午前9時45分、新関彌一郎ガバナー、井上和雄ガバナー補佐、志田泰久地区幹事が我が例会会場前にお揃いで到着。あの元気な新関ガバナーの声はかすれ、風邪気味な様子。早速例会場に案内、話に花が咲き、和やかな雰囲気では会長幹事会を迎えました。まず、ガバナーは、例会での講話のため、会場のマイクで発声練習、支障ないことを確認し、井上ガバナー補佐の

進行で会議が進められました。当クラブの笹原会長が、歓迎の挨拶、出席者の紹介、つづいて、クラブの運営現況と課題について説明、ガバナーからは、奉仕の原点や運営方針等の指導を頂きました。次に補佐、地区幹事からも様々なお話が出て、会議は12時過ぎまで展開されました。

例会前に記念写真撮影、即、通常例会へと進みました。ロータリーは職業奉仕が原点であり、楽しい例会づくりが肝要である。会員増強に気配りし、明るいクラブづくりに邁進してほしいとの力強い言葉を残し、会場を後にされました。



中山ロータリークラブ

会長 小松 努

8月19日（月）新関ガバナー、高橋ガバナー補佐、志田地区幹事をお迎えしての公式訪問が行われました。例会に先立ち会長幹事会では、新たな人材発掘の心得、それを生かしての会員増強の活性化のご指導をいただきました。

例会の中では、ロータリアンの基本とは人間の生まれた時、20万年前に確立された物と同一の物であると話されました。そして自分達の文化を作っ

ていかなければならないとお聞きし、大変参考になりました。また、ガバナーから東日本大震災の被災者の方へ支援出来ることから支援してはという話があり、当クラブでは早速9月14日移動例会元祖芋煮会への招待状を差し上げ、交流を深める事を決定し、実行する事になりました。

今後は同等一栄を目指しましょう。



米沢上杉ロータリークラブ

会長 五十嵐正明

8月20日（火）、新関ガバナー、秋葉ガバナー補佐、志田地区幹事にお越しいただき、10時30分より、会長、幹事、次年度会長、次年度幹事の7名で、ざっくばらんに意見交換をさせていただきました。引続き行われた例会に於いて、新関ガバナーの自己紹介に始まり、今年度の第2800地区の組織「クラブ奉仕グループ、新世代奉仕グループ、地域奉仕グループ」についての説

明があり、ロータリーにおいては、学問することも大事だが、それ以上に楽しむことが大事であり、楽しむために何をしなければならないか、真剣にアドバイスをいただきました。また、ロータリーには三つの義務があること「会費を納めること、出席すること、ロータリー情報誌を読むこと」そしてそれぞれの意義をお話いただきました。ユーモアを交えた話に、出席した会員一同、真剣に聞き入っていました。最後に、新関年度の方針の説明があり、今後のクラブ運営に大変参考になりました。